

## 2012年3月期 第2四半期累計 連結決算ハイライト

前年同期比で増収増益。

売上高	4,934 億円	8.5%	増収
営業利益	115 億円	24.9%	増益
経常利益	95 億円	24.8%	増益
当期純利益	64 億円	58.2%	増益

通期見通しを上方修正。

(単位:億円)	損益の状況		前年同期比		2012/3期 通期	
	2011/3期 第2四半期実績	2012/3期 第2四半期実績	増減額	増減率	11月4日 修正見直し	進捗率
売上高	4,546	4,934	388	8.5%	9,800	50.3%
売上総利益	380	408	29	7.6%	-	-
販売費・一般管理費	287	293	6	2.0%	-	-
営業利益	92	115	23	24.9%	200	57.6%
受取配当金	7	5	△ 3	-	-	-
利息収支	△ 18	△ 18	△ 0	-	-	-
持分法損益	△ 4	△ 2	2	-	-	-
為替差損	△ 0	△ 2	△ 2	-	-	-
その他	△ 2	△ 3	△ 1	-	-	-
営業外収支	△ 16	△ 21	△ 4	-	-	-
経常利益	76	95	19	24.8%	155	61.1%
特別利益	4	1	△ 3	-	-	-
特別損失	△ 10	△ 4	7	-	-	-
税引前当期純利益	69	92	23	32.7%	-	-
法人税等及び少数株主利益	△ 29	△ 28	1	-	-	-
当期純利益	40	64	24	58.2%	70	91.3%

【売上高・売上総利益】  
国内外の需要の回復や商品価格の高騰により、売上高は増加。これにともない売上総利益も増益。

【営業利益】  
売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費増加抑制に努めた結果、増益。

【経常利益】  
持分法による投資損失が改善した一方、受取配当金の減少および為替差損の増加により、営業外収支はやや悪化した。営業利益の増加により、増益。

【当期純利益】  
大きな特別損失の発生もなく、営業利益・経常利益の増益を反映し、増益。

<ご参考>  
期初公表見直し (修正額)

売上高 : 9,500億円 (+300)  
営業利益 : 170億円 (+30)  
経常利益 : 120億円 (+35)  
当期純利益 : 55億円 (+15)

(単位:億円)	資産・負債及び純資産の状況			
	2011年3月末	2011年9月末	2011年3月末比	
			増減	増減率
総資産	3,887	3,876	△ 11	-0.3%
グロス有利子負債	1,736	1,684	△ 53	-3.0%
ネット有利子負債	1,046	940	△ 106	-10.1%
株主資本	637	701	64	10.0%
(内、利益剰余金)	89	153	64	71.5%
その他の包括利益累計額	△ 306	△ 331	△ 24	-
少数株主持分	165	169	4	2.3%
純資産合計	496	539	43	8.7%
自己資本(注1)	331	370	39	11.9%
自己資本比率(注2)	8.5%	9.6%	1.1pt改善	-
ネットDER(注3)	3.2倍	2.5倍	0.7pt改善	-

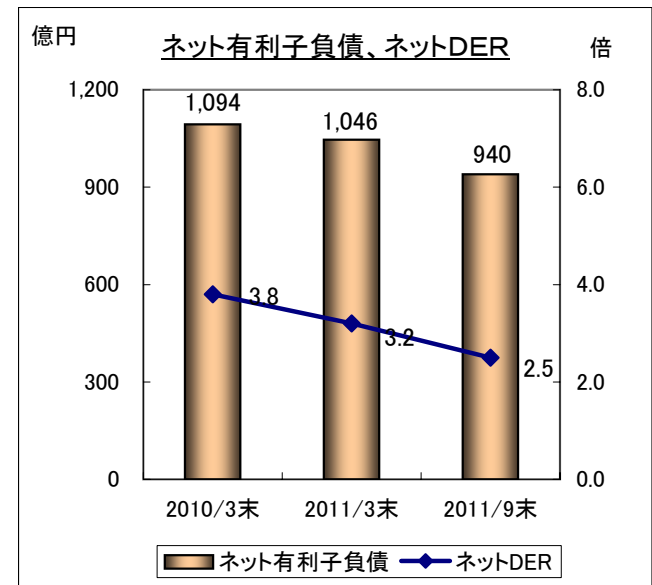
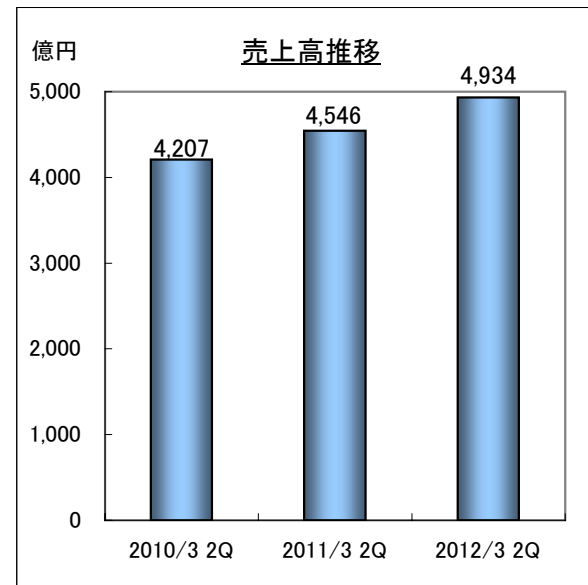
【総資産】  
11億円減少し、3,876億円。

【有利子負債】  
借入金の返済を進めたことにより、グロス有利子負債は53億円減少。現金及び預金の積み上げにより、ネット有利子負債も106億円減少。

【純資産】  
一段の円高で、為替換算調整勘定が悪化、その他の包括利益累計額のマイナスが拡大したが、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の積み上げにより、純資産は43億円増加。純資産から少数株主持分を除いた自己資本は、39億円増加。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.1ポイント改善の9.6%、ネット有利子負債倍率(ネットDER)も2.5倍に改善。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本



(単位:億円)	セグメント情報			セグメント情報		
	売上高(外部売上高)		増減	営業利益		増減
	2011/3期 第2四半期	2012/3期 第2四半期	前年同期比	2011/3期 第2四半期	2012/3期 第2四半期	前年同期比
電子・IT	1,276	1,250	△ 26	54	50	△ 3
食品・食糧	1,404	1,461	58	13	30	17
鉄鋼	464	513	48	15	19	3
機械・プラント	305	359	54	5	4	△ 1
環境・素材	1,013	1,261	248	4	9	5
報告セグメント合計	4,463	4,845	382	91	112	21
その他(含む調整額)	83	89	6	1	3	2
総合計	4,546	4,934	388	92	115	23

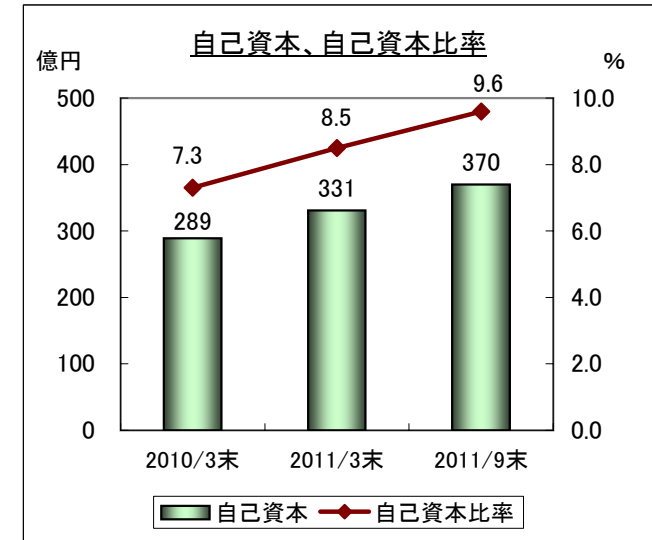
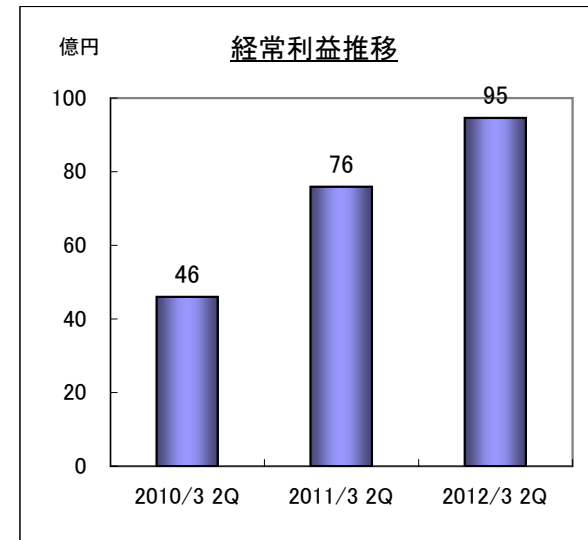
【電子・IT】: 減収減益  
ICT・モバイルソリューション事業は、スマートフォン等の市場拡大を受け、好調に推移。一方、半導体部品は震災の影響により、また半導体装置は昨年度からの反動による需要の落ち込みを受け、低調に推移。

【食品・食糧】: 増収増益  
震災及び原発事故の影響もあり、輸入畜産物の販売は底堅く推移。食品事業は、調理食品・加工品等を中心に好調に推移。食糧事業は、飼料販売取引先との関係強化および販路拡大への取り組みが奏功し、収益に貢献。

【鉄鋼】: 増収増益  
自動車用線材及びステンレスを中心とした欧米向け輸出取引が活発に推移、全体の収益を押し上げる主因となる。

【機械・プラント】: 増収減益  
自動車部品関連取引は、第2四半期中よりサプライチェーンが回復。プラント関連取引はやや低調に推移したが、工作機械取引は需要回復により堅調に推移。

【環境・素材】: 増収増益  
機能性化学品事業は車載用電池原料の輸出が伸長。潤滑油、樹脂原料など全般的に堅調に推移。エネルギー事業は、震災後の電力会社向け重油販売増加を追い風に、堅調に推移。



\* 本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、当社が発表日現在入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としたものであり、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる可能性があることにご留意ください。  
\* 表示の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。